

取材

執筆 コトはじめⅡ

～地元を伝えて応援しよう～

こんな方におすすめです。

人に伝わる、読みやすい文章の書き方を学びたい人

まちで活躍する人の話を聞いて見たい人

まちの魅力や地域の課題をみんなに伝えたい人

講師 矢嶋哲也さん・大泉大介さん 他

（河北新報社記者）

2015年

1.10 (土)

10:00～15:30

研修室5(4階)

学ぶ!

記事の書き方/取材の仕方

写真の撮り方/インタビューをして

原稿を書く!

1.11 (日)

10:00～15:00

研修室2(3階)

実践!

NPO・市民活動の現場を取材する!

原稿を書く!

1.16 (金)

18:00～20:00

研修室5(4階)

発表・合評会

交流会もあります!

会場：仙台市市民活動サポートセンター

定員：10名(原則3回連続参加の方優先・定員になり次第締め切り)

参加費：無料

持ち物：筆記用具、デジタルカメラ(また携帯・スマートフォンでも可)

10日・11日は9:30受付開始。昼食持参のこと

主催：河北新報社/仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)

河

北

×

サ

ポ

セ

ン

インターネットの普及により、だれもが情報の発信者になれる時代。SNSやブログなどを通じて自分たちの暮らすまちの魅力を発信したいと、考える人が増えています。今回は、河北新報社とタイアップし新聞記者の記事執筆のノウハウを学ぶと同時に、実践の場として地域の課題に目をむけ、そのまちの中で活動しているNPO・市民活動団体を取材する機会を用意しています。市民の目線で発信する力をつけ、書くことを通じて社会参加する機会を得る絶好のチャンスです。ぜひご参加ください。

市民ライター

講座

現場で活躍するプロのライター・編集者、新聞記者から、書く力、聞く力、伝える力を身につける方法を学びます。さあ、今日からあなたも市民ライター。自分たちの暮らす地域を、生き生きと豊かなまちにするため、市民の活動を広く情報発信するサポートをしてみませんか。

参加者の声

初心者の私でも分かりやすい。

「人」を取材して伝えようと、文を考えるのは楽しい。

インタビューする経験ができて収穫であった。

新聞社の方から、詳しく執筆・取材のコツを伺うことができて貴重な体験だった。

お申込書

| | | | |
|------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ふりがな 氏名 | | (代) | |
| ご住所 〒 | | | |
| TEL | FAX | Email | |
| 参加希望日 | <input type="checkbox"/> 1月10日(土) | <input type="checkbox"/> 1月11日(日) | <input type="checkbox"/> 1月16日(金) |
| 受講の動機 | | | |

※ご記入いただいた個人情報につきましては、河北新報社と仙台市市民活動サポートセンターが主催する本講座の運営及び、当センター主催事業のご案内のみに使用します。

お申込み方法

参加申込書に、氏名、年代、住所、連絡先、受講の動機を明記の上、電話・FAX・メールにてご送付ください。原則 3 回連続参加の方優先。定員になり次第締め切ります。

お問い合わせ

仙台市市民活動サポートセンター

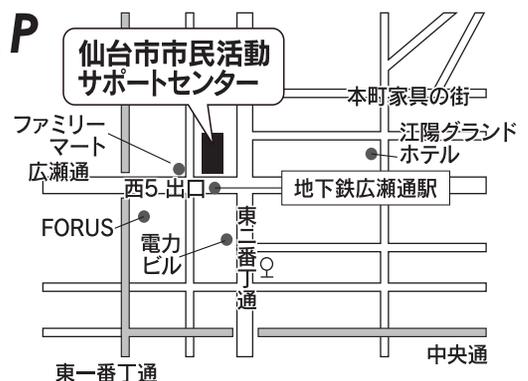
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目 1-3

TEL : 022-212-3010 FAX : 022-268-4042

MAIL : sendai@sapo-sen.jp

HP : <http://www.sapo-sen.jp>

MAP



●地下鉄「広瀬通駅」西5番出口すぐ ●バス「商工会議所前」から徒歩3分・「電力ビル前」から徒歩2分 ●当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車でご来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。